

朝の礼拝

聖書 マタイによる福音書 5章1-3節 (新約聖書6頁)

イエスはこの群衆を見て、山に登られた。腰を下ろされると、弟子たちが近くに寄って来た。そこで、イエスは口を開き、教えられた。

心の貧しい人々は、幸いである、  
天の国はその人たちのものである。

祈り求める心

ウイルス感染が急拡大してオンライン授業となりました。世界に広がって二年を過ぎようとしているのに、いまだ制御することができません。トンガの噴火も予測することはできず、為す術がありませんでした。

どんなに予防して対策しても感染症や自然災害はもとより、誰もが病気、事故、そして老いていきます。人間はこうした抗うことができない、避けられない自然の摂理、営みの中にいます。その前に人間は脆く、儂い存在です。

実は「心の貧しい人々」の「貧しい」とは「すくむ、かがむ、ちじこまる」という意味です。まさに為す術なく、じっと過ぎ去るのを震えながら待つ、どんなに健康で、賢くて、お金持ちでもどうにもならない状況です。

もうどうしたらいいのかわからない、願うというよりも助けてと繰り返し祈り続けるしかない人々が「心の貧しい人々」の意味です。イエスはそうした人々にこそ神様のまなざしは注がれている。神様の愛はその人たちのものであると言われていています。

しばらく黙祷しましょう。

すべての知恵の源である主よ、あなたはわたしたちが求める前から必要なものを知り、どう祈ればよいのか分からないわたしたちを助けてくださいます。どうか自然災害、ことにトンガの被災者の方々、また感染症に苦しむ人々、医療従事者の方々、ケアの必要な方々、入学試験に臨む受験生、今日からオンライン授業に臨む英和生、教職員に必要な支え、励ましを与えて下さい。今日一日もすべてをあなたに委ね、よき学びのうちに過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン